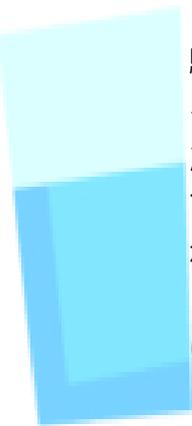


～看護師になる前となった後で～

3階病棟 佐々木 英朗

私は、恥ずかしながら看護学校は卒業出来たものの国家試験には合格することが出来ず、数年間、看護助手として働きながら国家試験に挑戦していました。

看護助手の時は、集中治療室や手術室といった急性期の病棟や脳神経科、消化器科、呼吸器科等の内科的な慢性期病棟等で勤務していました。急性期病棟では現場の切迫した緊張感を経験出来ましたし、慢性期の病棟では様々な患者様と日々関わることが出来ました。そうした経験をしながら、その後晴れて国家試験に合格することが出来、南芦屋浜病院へ就職しました。



こんな不器用な私ですが、今年の4月で看護師6年目となりました。国家試験に受からなかった時期は不甲斐ない気持ちが強かったのですが、看護師になるのを諦めず頑張ることが出来たことに、周囲の方々から温かい声を頂きました。絶対に僕も看護師になるとの思いを持ち続けることが出来たのは、目の前で働く看護師さんたちのテキパキとした動きに刺激を受けたからです。私がこれまでの経験で伝えたいことは『諦めないことが大事』という事です。私と同じようになかなか思うようにいかないという方も、絶対に諦めず頑張ってほしいと思います。



最後に、今の私があるのも職場のスタッフの方々、周りの様々な方々のおかげだと思います。働くうえで給料などの待遇面も気になるとは思いますが、やはり働きやすい環境が一番大事だと思います。これからも看護師としての責務を果たしていけるように、日々精進していきます。